

2017年8月25日

報道関係各位

丸の内イルミネーション実行委員会  
三菱地所株式会社  
三菱地所プロパティマネジメント株式会社

## 約1.2kmにわたり丸の内仲通りがオリジナルカラーのシャンパンゴールドに光輝く 「丸の内イルミネーション2017」

開催日時:2017年11月9日(木) 17:30~ 点灯開始\*

開催場所:丸の内仲通り、東京駅周辺 ほか

※12月は17:00~点灯開始予定

丸の内エリアでは、2017年11月9日(木)~2018年2月18日(日)の期間中、冬の風物詩として街を彩る恒例のイベント「丸の内イルミネーション2017」(主催:丸の内イルミネーション実行委員会)を行います。

「丸の内イルミネーション」は、丸の内エリアの企業・店舗や近隣のオフィスワーカー、来街者の交流を生み出す空間である街のメインストリート、丸の内仲通りを中心に開催しており、今年で16年目を迎えます。ブランドショップが並ぶ約1.2kmにおよぶ丸の内仲通りの、200本を越える街路樹が上品に輝く丸の内オリジナルカラー「シャンパンゴールド」のLED約93万球で彩られ、クリスマスシーズンの華やかな街並みを演出します。

本イルミネーションでは、従来品と比べ1球当たりの使用電力を65%削減※1する「エコイルミネーション」により、エネルギー使用量を削減し高効率化を実現してきましたが、2014年度より1球あたりの使用電力をさらに30%カットする「NEWエコイルミネーション」を一部に採用。この取り組みが評価され、昨年には、2016年度(第12回)「日本夜景遺産」※2としても認定されました。今年度は、さらに「NEWエコイルミネーション」の設置エリアを丸の内オアゾやiiyo!!(イーヨ!!)などにも拡大。約57万球を導入し、従来の明るさや輝きは変わらずに、使用電力を一層抑えます。

また、丸の内仲通りにおいて期間中に使用するすべてのエネルギーには、太陽光や風力などの自然エネルギーで発電されたグリーン電力を使用。環境を大切に地球に最もやさしいイルミネーションで、約100日間の煌めく夜景をお楽しみいただけます。

さらに、有楽町エリア(国際ビル、新国際ビル前)では従来のストリングス型のイルミネーション装飾に加えて今年より新たに、新しさの中にも古きよき歴史と文化が息づく街らしく、アール・ヌーボー調のデザインをモチーフにした高さ約6mの光のゲートが登場するほか、「丸の内イルミネーション」の連続的な景観を維持するため、丸の内仲通りの一部工事中仮囲い上部にもイルミネーションを施すことで、「丸の内イルミネーション」に一層の彩りを添えます。その他、丸の内エリアではクリスマスツリーの点灯式やクリスマス装飾、関連イベントなどを行う予定です。(詳細情報は、後日リリース予定)

※1 LED電球1球あたり(2009年度使用のLED電球との比較)

※2 「日本夜景遺産」:一般社団法人 夜景観光コンベンション・ビューローが行う「日本夜景遺産プロジェクト」のひとつで、全国約5,200名の夜景鑑賞士や各地の自治体、民間企業からノミネートされた夜景の中から、全国の「一級夜景鑑賞士(夜景マイスター)」31名と事務局によって、「すぐれた普遍的価値をもつ夜景」や「誰もが楽しめる夜景地」に認定された夜景に与えられる称号。  
(<http://www.yakei-isan.jp/index.php>)



「丸の内イルミネーション」過去開催時の様子



有楽町エリアイルミネーション装飾(イメージ)

# 《「丸の内イルミネーション2017」概要》

主 催 :丸の内イルミネーション実行委員会(以下の団体で組成)  
 東京都、千代田区、一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会、  
 NPO法人大丸有エリアマネジメント協会

協 力 :三菱地所株式会社

企画制作 :三菱地所プロパティマネジメント株式会社

実施期間 :2017年11月9日(木)~2018年2月18日(日) 102日間(予定)

点灯時間 :17:30~23:00(予定) ※12月は、17:00~24:00まで点灯予定

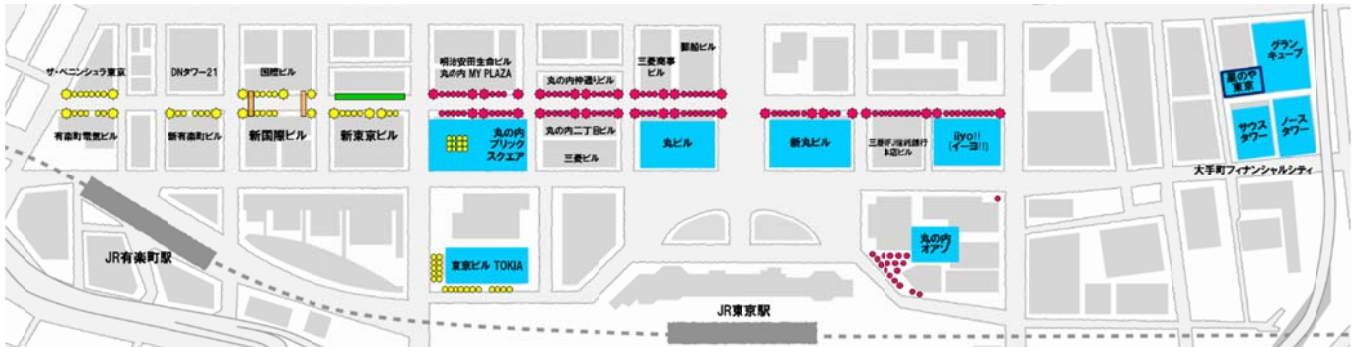
場 所 :丸の内仲通り、東京駅周辺 ほか

電 球 数 :約93万球 シャンパンゴールド(LED) ※丸の内オリジナルカラー (2007年より同色)

## 【NEWエコイルミネーションとは】

従来型LED電球の電力をコントロールすることで、使用電力を約65%削減しながら同等の明るさを得ることに成功した「エコイルミネーション」のエネルギー消費をさらに低減し、高効率化を実現した新モデル。  
**⇒明るさは従来のエコイルミネーションのまま、使用電力の約30%削減を実現。約57万球を丸の内ブリックスクエア前~iiyo!!(イーヨ!!)、および丸の内オアゾ前に導入予定。**

## 【「丸の内イルミネーション2017」開催マップ】 ※一部調整中につき、内容が変更となる場合がございます。



● NEWエコイルミネーション ● エコイルミネーション ※丸の内仲通り:有楽町電気ビル~丸ビル、および 新丸ビル~iiyo!!(イーヨ!!)  
 有楽町エリア: ■ 光のゲート ■ フェイク枝のイルミネーション

三菱地所株式会社は、大丸有まちづくり協議会を通じて同実行委員会に参画しています。

## 《丸の内仲通りについて》

- ・「丸の内仲通り」は、1960年代から一体的整備が進み、日本を代表するビジネス街に相応しい、幅員21m、全長1.2kmに及ぶ都心の街路として誕生しました。2002年以降の再整備を通じて、歩道が拡幅(歩道:車道:歩道=6m:9m:6m→歩道:車道:歩道=7m:7m:7m)、街路樹や路面が美装化されたことで、通過するだけの道路空間が、多彩な店舗やイベントなどで賑わう「快適な交流空間」へと変化を遂げています。
- ・街路空間を変えた「都市の居間」というリノベーションコンセプトとデザイン、公民連携でのエリアマネジメント運営が高く評価され、「土木学会デザイン賞最優秀賞」(2013年)、「グッドデザイン賞」(2014年)、「都市景観大賞(大賞の国土交通大臣賞)」(2015年)など、数々の賞を受賞。
- ・2014年度の国家戦略特区道路占用特例区域認定、2015年度の交通規制時間帯の延長後約2年間に渡るモデル事業を経て、現在は「NPO法人大丸有エリアマネジメント協会(リガーレ)」を担い手とし、経常的な取組として「アーバンテラス」というコンセプトのもと、就業者や来街者などに道路空間を開放し、オープンカフェや移動式店舗、様々なイベントを展開しています。「丸の内イルミネーション2017」でも、冬ならではの道路空間の活用を検討中です。



丸の内仲通りは  
 人のための通りへ  
**URBAN  
 TERRACE**

大手町・丸の内・有楽町地区 公共空間活用モデル事業



○参考情報:丸の内エリアのコンセプトワードについて

## Dynamic Harmony

Tokyo Marunouchi

「Dynamic Harmony」は、丸の内エリア(大手町・丸の内・有楽町・常盤橋地区)のまちづくりコンセプト「Open」「Interactive」「Network」「Diversity」「Sustainable」をベースにした、丸の内エリアの多様なあり方を表現したワードです。「あらゆるものをダイナミックに調和させ、新たな価値を生み出す街」丸の内。それは、私たち三菱地所が世界に発信する街のあり方です。